

#### 4 令和5年度学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程・学習指導	①基礎学力の確実な定着を念頭に置き、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自ら学習課題を発見し、解決できる能力を養う。	①小集団学習及び習熟度別学習の実施により自ら学習に向かう意欲と自己指導能力を養う。生徒の向学心を養うことを目的とした組織的な授業改善に教員一人ひとりの強みを生かして能力を養う。	①「わかる・できるが実感できる授業を目指して」を全教科共通のテーマとし、教科毎に小テーマを設定して、授業改善に取り組む。 ①授業互見、研究授業等を実施する。 ①生徒一人一台端末の円滑な活用に向けて、教員や生徒へ具体策を提示しながら支援する。 ①ICTを活用して学習活動に主体的に取り組むことができる授業を実践する。	①各教科でテーマに沿った取組と振り返りができたか。 ①授業互見、研究授業を年2回以上実施できたか。 ①情報機器の管理・運営を徹底し、円滑な活用を支援できたか。 ①ICTを活用して生徒が主体的に取り組む授業を全授業の70%以上で実践できたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①社会的規範意識の育成を図るとともに、社会におけるリーダーとしての素養を養う。  ②生徒の主体的な活動を支援する場として、部活動や学校行事の充実を図る。	①「マナー日本一」の規範意識の充実により、他者理解を踏まえ、集団におけるリーダーとしての素養とシチズンシップを養い、公共のマナーを身に付け社会に貢献できる人材を育成する。 ①いじめ防止対策を推進し、自他共栄の心を持ち、周囲と適切なコミュニケーションをとれる寛容な心を育成し、優しさを育成する。 ②生徒会本部や委員会活動を活発化させ、生徒が自ら学校行事を検討・運営・改善して作り上げてゆく意欲を錬成する。 ②部活動の加入率の向上を推進し、部活動を通して主体性を育み、強靱な精神力を養うことにより、社会におけるリーダーとしての素養を身につける。 ②地域を巻き込んだの生徒活動に努める。	①挨拶・会釈を徹底させ、制服をフォーマルウェアとして着こなし、地域の方々に愛されるよう社会貢献を推進する。 ①高校生(社会人)として身に付けるべき言葉遣い・立居振舞い等を身に付けさせる。 ①いじめ相談窓口を生徒に周知し、相談しやすい雰囲気をつくる。  ②体育祭等の生徒主体行事を見直し、良い点は継続として、生徒の主体的な創意工夫を促して、自尊感情や生徒相互の一体感を育てる。 ②全体の部活動加入率60%以上の維持と運動部女子加入率30%を目標とし、バランスの良い教科・教科外活動により、生徒の様々な取組を活性化する。 ②部活動・委員会・有志により地域の活動で協働する。	①制服をフォーマルウェアとして着こなし、授業に集中させ、円滑に授業を行うことができたか。 ①TPOに合った態度・言葉遣いをしっかりできたか。 ①生徒がいじめ相談の担当に気軽に話しかけられたか。アンケートにしっかり対応できたか。 ②生徒会行事を見直し、行事に積極的に取り組んだか。 ②委員会活動において、主体的に取り組んだか。 ②部活動加入率60%を達成できたか。部活動の生徒が学校行事等へ主体的に協力できたか。 ②地域活動に参加した延べ人数

3	進路指導・支援	①キャリア諸能力の形成及び豊かな人間性の育成を図り、社会に貢献できる人材を育成する。	①「総合的な探究の時間」の3年間の系統的な授業展開を通じて、現代社会が抱える課題に目を向け、その解決に主体的に関わる姿勢を養う。 ①3年間を見通した系統的、組織的な指導・支援を行い、社会における自己の生き方を探求する。	①「総合的な探究の時間」において、社会問題における課題についてのレポートを作成し、発表をとおして、考えを深化させる。 ①職業理解講座、分野別説明会による職業観の深化を促す。 ①3年間を見通した系統的、組織的な指導・支援を推進する。	①現代社会における諸問題に積極的に関わる姿勢が見られたか。 ①「総合的な探究の時間」において3年間を見通し、計画的に発表の場を設定できたか。 ①職業観を確立させることができたか。 ①将来設計の立案を促すことができたか。 ①3年間を見通した系統的、組織的な指導・支援となっているか。
4	地域等との協働	①豊かな人間性、社会性を育み、生徒が有用感、自尊感情を実感でき、地域に信頼される学校づくりを目指す。	①田名地域の特性を踏まえたコミュニティ・スクールを整備・構築し、地域に信頼される学校づくりを行う。また地域連携活動の工夫、参加規模を拡大・充実させることにより、生徒の地域社会への参画力を身につける。	①安心・安全な「地域連携活動」等を検討し、実施する。 ①生徒の「地域貢献活動」等の参加やPTA主催の「キウイ収穫祭」の参加を推進する。 ①「公開授業」等で生徒の活動を地域に発信する。 ①地域の社会福祉施設や公民館、近隣小中学校との交流行事を行う。 ①学校ホームページの充実を図る。	①安心・安全な「地域連携活動」等を実施できたか。 ①「地域貢献活動」「キウイ収穫祭」を安心・安全に配慮し工夫して実施できたか。 ①「公開授業」等で生徒の活動を地域に発信できたか。 ①地域の社会福祉施設や公民館、近隣小中学校との交流を実施したか。 ①ホームページに学校行事や部活動結果、学校生活の様子を月2回以上更新できたか。
5	学校管理・学校運営	①安全、安心な学校生活の中で、自己と他者を守る行動のできる力を育成する。  ②事故・不祥事ゼロの実現に向け、教職員が一丸となって、風通しの良い職場環境を醸成する。  ③働きかた改革を推進するために教員の意識改革を図る。	①防災に関する研修・訓練を実施し、「災害は身近に存在するもの」という意識を醸成し、責任のある社会的な行動力を育てる。  ②研修や不祥事防止会議を活用して、情報共有を徹底し、その成果を生徒に還元する。 ②成績処理や指定校推薦業務、入学者選抜業務の精度を上げ、確実な業務遂行に努め生徒・保護者の信頼を得る。  ③Teams等の活用を促進し、業務の効率化を図る。	①大規模災害に備え、生徒・職員対象のDIG研修、防災避難訓練や帰宅班の確認、東日本大震災の記憶を風化させないためにシェイクアウトを実施し、災害対応力を向上する。 ②研修や不祥事防止会議を計画的に実施し、情報共有や事故不祥事防止に関する意識の醸成を図る。 ②成績処理、指定校推薦業務等を確実に遂行する。 ②入学者選抜要項・研修会の充実を図り、業務を遂行する。 ③打合せ掲示板やサービス記録の扱いを整理する。	①生徒・職員対象のDIG研修、シェイクアウト、防災避難訓練や帰宅班の確認を年1回以上実施できたか。  ②研修や不祥事防止会議を計画的に実施し、不祥事ゼロを達成できたか。 ②成績処理、指定校推薦業務において事故ゼロを達成できたか。 ②入学者選抜業務において、事故ゼロを達成できたか。  ③業務のオンライン化等で働き方改革の意識が高まったか。

